

中世木モニタリング調査 — 9月の報告 —

日時：2022年9月16日（金） 10時～12時

場所：南丹市日吉町中世木地区

天気：晴

主宰：前田敦子

参加者：7名



暑い夏はまだまだ続いていましたが、いつも通り10時には主催者前田さん宅前に集合し、観察場所へ向かいました。中世木では、稲穂で一面黄金色した田んぼ、そしてその畦道や道端に見られたツルボにアキノタムラソウやゲンノショウコ（赤花）にも花が咲いており、山間の秋の風景が目の前に広がっていました。

ツルボ・コアオハナムグリ



クロメンガタスズメ幼虫

A区間の畑では、葉の緑色の中に咲いた黄色い花のキンミズヒキ、青紫色で1日花のツユクサや多くの白い花を咲かせたイタドリ（別名スカンポ）など、たくさんの花を咲かせていました。また、野菜の葉裏に体調10センチはありそうなスズメガの幼虫を見つけましたが、十分に葉っぱを食べた後の様子だったのでそっとしておきました。防鹿柵フェンスには、つる性植物のア

オツツラフジ、ヤブマメ、センニンソウ、ノブドウやオニドコロ等々が確認されました。そろそろアケビが色付いて食べごろになりそうです。

B区間は畑から山へ入る迄の法面です。この時期は、実を付けた木本のジャケツイバラ、クマノミズキ、ウツギ、フジ、アケビ、ガマズミ、コナラに加え、実がついて見分けやすいヤマコウバシ等が観察できました。他には、ハンショウヅルはタイミングが悪く今年も花が終わっていました。残念です。



サンカクヅル



ガマズミの実



アブラチャンの実



ヤブハギ



オハラメアザミ



アキノウナギツカミ

C区間は山へ入る道ですが、湧き水や谷筋の小川もあり、少し登った折り返し点の奥には名も無い滝がある様な所です。アキノウナギツカミ、ハナタデ、シュウブンソウの他に花の時期が長いミズタビラコはまだまだ花が観察できました。山道にはアケボノソウが蕾を付けており開花はもう少し先の様です。

調査後には、前田さんのオープンカフェの場所を借りての昼食です。そこでは参加者からの持寄り品を頂きながら、キノコの本を見たり楽しい話をする時間があります。



アケボノソウ



ハシカグサ



シュウブンソウ

午後からは、新しい観察地を求めて日吉ダムの方に向かい、ダム湖の周回コースを2台の車で走ってみました。しかし、至る所で倒木や崖崩れの為に道幅が狭くなっていたり、前方確認の為に車から降りたり枝を払ったりと、運転手泣かせの道が続きます。結局、良さそうな観察場所は見つかりませんでした。が、運転手としては無事に帰れただけでホッとしました。(古結)



キブシの実



ヌルデミミフシ



ナツアカネ



メナモミ



ヨウシュヤマゴボウ